

平成27年度 栄村ふるさと復興支援金事業総括書

申請集落等名 屋敷

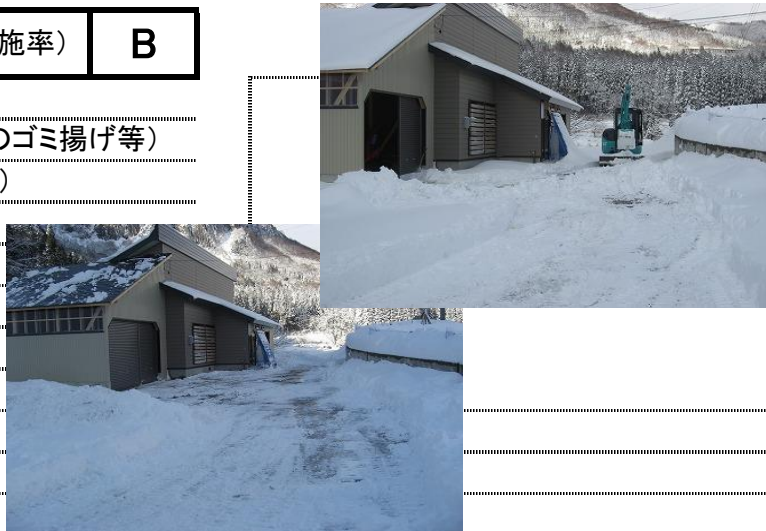
代表者名 屋敷区長 清水 敏

| | |
|--------|-------------------------------|
| 事業名 | 地域協働に関する事業 |
| 事業区分 | 地域協働の推進に関する事業 |
| 事業タイプ | ハードのみ |
| 事業実施期間 | 平成28年 4月13日 から 平成28年 8月28日 まで |

1 事業内容

① 自己評価(事業実施率) **B**

水路の維持補修管理(泥上げ、落ち葉等のゴミ揚げ等)
農道の維持補修管理(小規模補修改良等)
救助世帯対象外建屋の除雪
地区管理財産の除雪
(本年度は、小雪のため稼働が少ない。)
災害時の土砂除去、排雪等



2 事業効果

② 自己評価(事業効果) **B**

高齢化、人口の自然減少及び若者の減少により、地区の維持管理が大変な時代になりました。
小型バックホウを導入し、人力で行っていた水路の泥上げ、落ち葉上げ等の農道の側溝上げ、簡易な補修ができ労働力不足を軽減することができます。
また、地区管理建物や家屋の除雪作業も協働で行います。
秋山地区で中津川の左岸側は、五宝木地区、屋敷地区しかなく冬期には主要道路が1本しかありません。
特に冬期には、豪雪等により災害が発生した場合は寸断される可能性もあります。
小型バックホウを導入することにより災害が発生した場合でも早急に地区内道等の土砂、雪等の除去ができます。
大雪等の場合は、区民の除雪作業が追い付かない場合もあることから、住民の協働によって区管理施設や家屋の除排雪がで、「結」の絆も深かまり区民が安心して生活できるようになります。

3 今後の取組み

除雪作業では、ミニバックホウが入れない箇所もあることから、外の機械と組み合わせながら作業効率を図る。
農地の補修、改良及び耕作放棄地対策も取り入れる。

※ ①自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示してください。

※ ②自己評価(事業効果)欄は、以下から選択してください。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある